

暮らし



質問

60代の女性です。20年近く前に甲状腺がんにかかり、全摘手術を受けました。その後、ホルモン剤を1日1回服用しています。血液検査を年2回受けていますが、最近の検査で甲状腺ホルモンの量を示すFree T4値が1.59〜1.67から1.9へと、少し上がりました。どれくらいまでなら大丈夫なのでしょう。東日本大震災・福島第一原子力発電所事故後、服用薬をチラージンからレボチロキシンに変えましたが、それが影響しているのでしょうか。ちなみに、下垂体ホルモン（TSH）の値は0.02〜0.03です。

答え

甲状腺は、喉仏の少し下にあるチロチンのような形をした臓器で、甲状腺ホルモンを分泌しています。甲状腺ホルモンは血流に乗って全身に作用し、新陳代謝を促進します。甲状腺

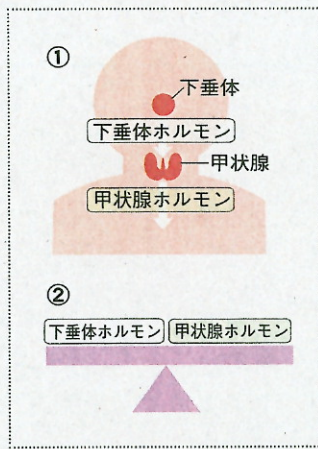


薬変更でホルモン値上昇

元に戻し経過の観察を

質問者は甲状腺の全摘を受けていますから、必要な甲状腺ホルモンは全て薬で補わなければいけません。Free T4の基準値は0.90〜1.70、TSHの基準値は0.50〜4.0ですが、質問者は、甲状腺ホルモンは正常上限、TSHは正常値以下にコントロールされていたようです。おそらくTSH抑制

ホルモンは、いわば元氣のもとのような物質です。甲状腺ホルモンの分泌量は、下垂体から分泌されるTSHによって調節されており(図①参照)、甲状腺ホルモンの分泌量が上がればTSHの分泌量は下がり、逆に、甲状腺ホルモンの分泌量が下ればTSHの分泌量は上がる、シーソーのような関係が成り立っています(図②参照)。



療法」が行われていたものと考えられます。「TSH抑制療法」は、多くの甲状腺がんがTSHの刺激を受けて増殖することから、甲状腺がんの術後に甲状腺ホルモン剤を少し多めに内服することで、下垂体から分泌されるTSHを抑えようとする治療法で、再発のリスクが高い患者が対象になります。日本国内で販売されている甲状腺ホルモン剤(T4製剤)は、主に「チラージン錠50」と「レボチロキシンNa錠50」の2種類ありますが、9割以上のシェアを占めていたのが、前者です。3月に発生した東日本大震災で、福島県いわき市に

ある工場が被災し、生産がストップしてしまいました。4月下旬には生産が復旧し、現在は流通も元に戻っていますが、質問者のように薬を変更した方もいたことと思います。両錠とも有効成分は同量ですが、導管会社で作られている薬であり、添加物も異なります。従って、これまで安定していたFree T4値が上昇したのであれば、薬の変更が影響した可能性があります。検査会社によって正常範囲が若干異なりますが、いずれにしてもFree T4値が1.9というのは、正常範囲より少し高い値を思いますが、甲状腺ホルモンの過剰状態が

どこまでなら許容できるかは難しい質問ですが、甲状腺ホルモンが過剰になると、特に高齢の方では心房細動などの不整脈を誘発することがあるので、注意が必要です。また、長期間甲状腺ホルモンの過剰状態が続くと骨粗鬆症のリスクも高まります。ですから、Free T4値は正常範囲にあることが理想的だと言えます。内服薬をチラージン錠に戻して、Free T4値が正常化するのか、様子を見てはいかがでしょうか。また、手術から20年が経過しているとのことですので、前述のTSH抑制療法をいつまで続けるかについても担当医と相談されたら良いかと思えます。

質問書集 がんに関する悩みに「徳島がん対策センタ―」がお答えします。質問内容を詳しく書き、住所、氏名、年齢、性別、電話番号を明記し、〒770-8572 徳島新聞社文化部「がん相談」係へ。紙上に住所、氏名、電話番号は掲載しません。同センター(電088(603)9438)でも平日午前8時半〜午後5時に受け付けています。